

～印画紙に残らない心の旅を求めて～

〈縄文DNA歴史ツアー：函館/青森編〉

縄文道のプロと縄文アイヌのプロが同行解説する

五稜郭の桜と大平山元遺跡・三内丸山遺跡探訪の3日間



◇旅行期間

令和5年〈2025年〉4月28日〈月〉～4月30日〈水〉

☆〈一社〉縄文道研究所 加藤 春一氏代表理事同行

☆縄文アイヌ研究会主宰 澤田 健一氏同行

☆〈一社〉真経営者協会 杉原 忠氏代表理事同行

旅の栞

▼ツアーの特色

- 1)各遺跡見学時にはボランティアガイドまたは学芸員が説明する
- 2)遺跡見学と観光名所を巡る〈例：十二湖/キリストのお墓〉
- 3)大平山元遺跡見学後は、有名なしじみラーメンを堪能
- 4)バスで移動時には、澤田健一氏の縄文アイヌについて解説
- 5)懇親会では縄文道の加藤春一氏が縄文について解説
- 6)最古の縄文時代から現代までの縄文DNAは??
- 7)十和田湖観光とキリストのお墓見学
- 8)函館五稜郭公園の桜観賞



◆旅行企画：〈一社〉縄文道研究所/〈一社〉真経営者協会 共同企画

◆旅行取扱会社：〈株〉南海国際旅行東日本営業部〈観光庁長官登録旅行業第29号〉

協力：北村龍児〈総合旅行業務管理者〉〈080-4613-77577〉

【第1回 縄文DNA歴史ツアー：函館・青森編

〈日程〉

No	月日(曜日)	都 市 名	時 間	交通機関	行 動 予 定	食事
1	4月28日 〈月〉	東京駅発 函館北斗駅着 函館駅発	13:00 06:32 10:53 13:00 19:00		昼食を済ませて、宿泊ホテル1階フロント前集合 北海道新幹線はやぶさ1号にて函館北斗駅へ〈別料金〉 専用TAXI 全員集合後、専用TAXIにて函館五稜郭桜観光 五稜郭の桜観賞後、函館山にて夕景観賞 夕景観賞後、懇親会会場へ 市内居酒屋で懇親会〈縄文文化を語り合う会〉 〔函館市内ホテル泊〕	夕食
2	4月29日 〈火〉 祝日	函館駅発 函館北斗駅着 函館北斗駅発 新青森駅着 新青森駅発 ⇕ 大平山元遺跡発 三内丸山遺跡着 三内丸山遺跡発 宿泊ホテル着	07:02 07:21 07:38 08:35 08:50 12:00 14:00 15:30 16:00 18:00	徒歩 はこだて ライナー はやぶさ12 専用バス 専用バス 専用バス	朝食は近くの函館朝市で！！〈別料金〉 朝食後、函館駅〈約徒歩1分〉へ JR函館ライナー〈自由席〉にて函館北斗へ はやぶさ12 はやぶさ12号〈指定席〉に乗り継ぎ、新青森駅へ 到着後、専用バスにて太平山元遺跡研修へ 着後、ボランティアガイドによる遺跡研修〈約90分〉 終了後、昼食〈じみラーメン〉〈はくちょう亭奈良屋〉 昼食後、専用バスで三内丸山遺跡研修へ 着後、ボランティアガイドによる遺跡研修〈約90分〉 終了後、青森市内宿泊ホテルへ 市内居酒屋で懇親会〈縄文文化を語り合う会〉 〔青森市内ホテル泊〕	昼食 夕食
3	4月30日 〈水〉	ホテル発 十和田湖着 十和田湖発 七戸十和田着 七戸十和田発 東京着	08:00 15:30 16:30 16:53 20:04	専用バス 専用バス はやぶさ 32号	ホテルにて朝食 食後、十和田湖・奥入瀬溪流観光〈ガイド付き〉、 到着後、キリストのお墓見学 昼食は十和田湖畔にて〈後日ご連絡〉 観光終了後、七戸十和田駅へ 東北新幹線はやぶさ32号にて東京駅へ 〈別料金〉	朝食 昼食

…お疲れ様でした…

***ご注意：現地移動手段及び宿泊施設は多少の変更が考えられますので予めご了解ください。**

***ご注意：上記旅程は令和7年4月17日現在の時間を基準に算出しております。**

☆縄文遺跡見所

大平山元縄文遺跡

青森県津軽半島の外ヶ浜町に所在し陸奥湾へそぐ蟹田川の左岸の標高26メートルの河岸段丘に立地し、サケ・マスが遡上し、捕獲できる河川近くで、石器に適した良質の石材が採取できる場所。旧石器時代及び縄文時代6期のうち、「草創期」初頭のもので、国指定史跡。蟹田川は石器の材料となる岩石が豊富な地で、この遺跡から出土した石器類は、後期石器時代「後半期」から縄文時代「草創期」までの特徴の変遷を示す、北日本では希少な例として知られる。



遺跡からは、旧石器時代の終わりごろの特徴を持つ石器群とともに、土器片と石鏃〈せきぞく〉が出土しました。土器片に付着していた炭化物の放射性炭素年代測定を行ったところ、紀元前13,000年頃のものである可能性が指摘される。現在のところ北東アジア最古級の土岐です。最も古い特徴を持つ土器片は、縄による施文

や貼り付け等の装飾がない無文のものです。重量があり壊れやすい土器の出現は、定住生活の開始を示す重要な要素であり、この土器片は土器の起源を語る事が出来るものの一つと考えられる。土器片の分布をみると、土器を中心とした居住空間を想定でき、柱穴や凹みは認められず、地下への掘り込みも無いことなどから、住居は移動式テントの様な物で、あらゆる建築物や土地の造成を行わず、石器群とともに最小限の土地利用で自然環境に適応した生活を送っていたと考えられる。発見された石鏃〈せきぞく〉や、土器の起源とされる縄文土器片から、旧石器時代から縄文時代へと生活様式が変化する様子が窺える。大平山元遺跡展示施設むーもん館でこれらの遺跡を展示している。2021年7月、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の一つとして世界遺産に登録された。青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田大平山元。



三内丸山遺跡

平成4年からの発掘調査で、忽然と姿を現した縄文時代前期から中期〈約5900～4200年前〉の日本最大級の縄文集落遺跡。令和3年〈2021年〉7月24日に国際連合教育科学文化機関により、登録された世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」構成遺産の一つ。



当時、クリ、クルミなど手入れされた落葉広葉樹林〈ナラ林帯〉に囲まれた集落で、現在の沖館川
カガン ダンキュウウ ウエ リッチ
右岸の河岸段丘上に上に立地する。



1997年3月5日、国の特別史跡に指定。

遺跡には竪穴建物〈竪穴住居〉群、高床建物〈高床倉庫〉群、大型竪穴建物の他、シンボリックな

3層の堀立柱建物が再現されている。広大な土地に大型竪穴建物や堀立柱建物を復元。復元されたクリの柱を組んだ高さ約15メートルの大型堀立柱建物などもある。出土品から遠方との交易も行われたと推定されている。三内丸山応援隊ボランティアガイドが1時間ほどで案内してくれる。縄文時遊間では勾玉作りが楽しめる。食堂や売店ではソフト栗夢やピンバッジなどが人気。



大型堀立柱建物跡

地面に穴を掘り、柱を建てて造った建物跡です。柱穴は直径約2メートル、深さ約2メートル、間隔が4.2メートル、中に直径約1メートルのクリの木柱が入っていました。地下水が豊富なことと木柱の周囲と底を焦がしていたため、腐らないで残っていました。6本柱で長方形の大型高床建物と考えられます。

青森県青森市大字三内丸山305 TEL:017-766-8282

十二湖

十二湖は、白神山地西部に位置するブナ林に囲まれた33の湖沼群の総称。1704年に発生した大地震による山崩れによって出来たと言われており、崩山から眺めると12の湖沼が見えたところから十二湖と呼ばれるようになりました。特に有名なのは鮮やかなコバルトブルーに輝く「青池」です。水中には朽ちたブナの大木が横たわり、池底に倒れた木が見える程透明でありながら、インクを流したようにハッキリとした青の湖面が神秘的です。



同じ様に青色の湖水が美しい「沸壺の池」の湧水は「青森県の名水」にも選ばれている。茶屋「十二湖庵」に例え、名水「沸壺の清水」で淹れ立てのお茶を頂きましょう。

他にも、白い岩肌の断崖が周囲の木々に映える「日本キャニオン」など素晴らしい景観が広がるエリア。

十和田湖

十和田湖は青森県と秋田県にまたがる美しい湖で、四季折々の自然が楽しめます。湖周辺には展望台や神社、遊覧船などの観光スポットが点在し、自然と文化を堪能できる。青森県から車で約2時間。奥入瀬の溪流美を十分に堪能したころ、子ノ口



近くの木立の中に十和田湖が姿を見せる。典型的な二重カルデラ湖で、周囲46KM、最深部327M。秋田県の田沢湖、北海道の支笏湖に次いで3番目の深さである。形成は20万年前に遡る。十和田八幡平国立公園に属する奥入瀬溪流は、「特別名勝」と「天然記念物」に指定されており、辺り一帯は自然林に覆われた場所です。

十和田湖は魚のいない湖だった。奥入瀬溪流の銚子大滝が「魚止めの滝」となり、魚が遡上できない事などが理由。ヒメマスを十和田湖に定着させたのは、鉱山に勤務するなどしながら養魚事業に取り組んできた和井内貞行。1903年〈明治36年〉、ヒメマスの稚魚を十和田湖に放流。縄文時代、弥生時代に現在の十和田湖自体が存在していなかった。十和田湖から流れ出る奥入瀬川。岩や樹林をかき分け、滝や清流を成しながら、十和田湖畔・子ノ口から焼山までの約14KM続く流れが奥入瀬溪流です。溪流沿いには車道と遊歩道は整備されており、道を包むように続く木々のトンネルが、訪れる人達を何時でも歓迎してくれます。



キリストのお墓

ゴルゴダの丘にて磔刑になったキリストが実は密かに日本に渡っていた。そんな突拍子も無い仮説が、茨城県磯原町〈現北茨城市〉にある皇祖皇大神宮の竹内家に伝わる竹内文書から出てきたのが昭和10年の事です。



竹内氏自らこの新郷村を訪れ、キリストの像を発見しました。1936年に考古学者の団が「キリストの遺書」を発見したり、考古学者・地質学者の山根キク氏の著書で取り上げられたりして、新郷村は神秘的な村として注目。

新郷村のミステリー：キリストの墓と弟のイスキリの墓であるかは判断を預けるとしても、この新郷村にはいくつかのミステリーがあります。

戸来〈へらい〉はヘブライが訛ったと言う説。父親をアヤ又はダダ、母親をアパ又はガガと言う事。子供を初めて野外に出す時に額に十字を書く事。ダビデの星を代々家紋とするする家がある事、そして、「ナニヤドラー、ナニヤドラー」と言う意味不明な節回しの祭り唄が伝えられている。

キリストの伝承館：霧に包まれた新郷村の森に行きましょう。何かが感じられるはずです。その後で伝承館と言う資料館に行きましょう。但し今回は水曜日で休館日です。

単に伝承を集めるだけでなく、当時の原著や報道が展示されている。皆さんの個々の価値観で、神秘的の里のロマンに想いを馳せてください。

▲ 集合場所と時間と宿泊ホテル名

▽ 令和7年〈2025年〉4月28日〈月〉 午後1時00分 【時間厳守でお願い致します】

▲ 宿泊ホテルフロント前：添乗員北村がお待ちしております。

緊急の場合や遅れる場合は北村までご連絡をください。

全員が揃いましたら、TAXIにて五稜郭公園へ出発です。

北村連絡先：080-4613-7757

- ** TAXIは宿泊ホテルから五稜郭公園、五稜郭公園から函館山、函館山から懇親会会場まで使用
- ** 青森県は中型バスを使用します。バスの中では加藤様及び澤村様の縄文の講義となります。

▲宿泊ホテル

- * 4月28日<月>～4月29日<火> 1泊

函館：ルートイングランティア函館駅前

函館駅の真向かいにあり、徒歩1分以内。メニュー豊富なバランスの
取れた朝食を取り揃えています。13F屋上には温泉街らしく展望天然
大浴場やリラクゼーションルーム、アカスリ等のマッサージコーナーがあります
北海道函館市若松町21-3 TEL:0138-21-4100

- * 4月29日<火>～4月30日<水> 1泊

青森：ルートイン青森

※加湿空気清浄機・LAN回線は全室完備※和洋食のバイキング朝食無料
※男女別の人口温泉大浴場あり※ビジネス・観光に便利※
青森県青森市新町1-1-24 TEL:017-731-3611

◆ 添乗員北村の連絡先：080-4613-7757

◆ 気候と服装

函館/青森 4月の函館の平均気温は7.2度、最高気温は11.8度、最低気温は2.6度まで上昇し、氷点下になることはほとんどなくなる。4月下旬には北海道にもようやく桜前線が到着し、松前城や五稜郭など桜の名所が賑わいを見せ、道民が活発に動き出す時期が到来する。

4月の函館/青森の気温は、東京の12月頃の気温とほぼ同じ。天候を見ながら、寒さにも対応できる服装が必要。コートは綿素材のコートやジャケットで十分だ。トップスは厚手の綿のセーターやカーディガン、トレーナーなどでOK。



